

令和4年度 学校評価項目一覧 と 学校関係者評価

柏市立柏の葉小学校						
(職員)学校評価項目	点 (5点満点)	(保護者)学校評価項目	点 (5点満点)	(児童)学校評価項目	肯定的回答(%) 4→5点満点換算	
		お子様の学年を選んでください。(複数選択可)		学年		
		お子様のクラスを選んでください。 (まとめて回答する場合は、一番下のお子様のクラスを選択してください)		クラス		
名前		お子様の名前を入力してください。 (まとめて回答する場合は、一番下のお子様の名前を入力してください)				
1 柏の葉小学校の教育活動全般に関して、児童や保護者は満足していると思いますか。	4.5	1 柏の葉小学校の教育活動全般に関して、満足していますか。	4.8	1 学校は楽しいですか。	90.7 5	
2 学校教育目標の〈自主・自律〉に基づいた教育活動を意識的に展開しましたか。	4.6	2 学校経営方針に「自主・自律」を掲げていますが、お子様は、自ら判断して行動したり、学習やお手伝い、身支度などを進んで行ったりすることができますか。(完璧にできなくても構いません。)	4.3	2 自分のことは自分でしたり、できることを自分から進んで行ったりしていますか。	88.8 4.8	
3 子ども達にとってわかりやすい授業を展開しましたか。	4.5	3 学校ではわかりやすい授業づくりに努めています、お子様にとってわかりやすい授業になっていると思いますか。	4.7	3 授業は分かりやすいですか。	91 5	
				4 宿題や家庭学習を自分から進んでしていますか。	83.9 4.8	
				5 学校以外の場で運動したり、体を動かして進んだりしていますか。	83.6 5	
4 スポーツフェスティバルは、十分に子どもの成長に繋がる内容でしたか。	4.8	4 スポーツフェスティバルは、お子様の成長につながる内容でしたか。	5	6 学校行事などに自分からすすんで参加できましたか。	83.3 4.8	
5 校外学習、林間学校、修学旅行は、十分に子どもの成長に繋がる内容でしたか。	5.1	5 校外学習、林間学校、修学旅行は、お子様の成長につながる内容でしたか。 (1年: 柏の葉公園、2年: 町見見等、3年: 市内めぐり、筑波山(航空博物館)、4年: 佐原、5年: 林間学校、飯盒炊飯、6年: 修学旅行)	5.2			
6 柏の葉小の児童が、自分から進んで挨拶ができるよう率先垂範しましたか。	4.8	6 お子様は、家族や地域の方、友だちに自分から進んで挨拶ができますか。	4.2	7 自分からすすんであいさつをしていますか。	89.8 5.1	
7 電話や連絡帳、配付物、ホームページなどで教育方針や児童の様子を知らせることができましたか。	4.6	7 学校だより、ホームページなどから、学校全体の方針やお子様の学習や生活の様子が分かりますか。	4.3			
		8 学校やPTAからの情報発信に関して、ホームページやメールを活用していますが、お知らせを受け取る利便性は高いと思いますか。	5			
		9 欠席や遅刻時の連絡をメールフォームで行えるようにしていますが、これにより、欠席や遅刻連絡の利便性は高いと思いますか。	5.5			
		10 通知票を10月と3月の2回発行して、7月と10月に個人面談を行い、年4回の授業参観を計画しましたが、お子様の学習や生活の様子を知ることができましたか。	4.8			
		11 夏休みや冬休み期間に一律の宿題がなかったことで、習得はできない体験や学習など、お子様の興味関心によって学び、休養する時間は取れましたか。	4.3	8 夏休みの宿題はありませんでしたが、自分のやりたい学習ができましたか。	83.4 4.9	
		12 柏の葉小中学校は、コミュニティスクール(学校運営協議会制度・地域とともにある学校)ですが、ご自身は子どもたちや学校のための活動に積極的に参加できたと思いますか。(PTA活動、放課り当番、清掃や読み聞かせ活動など)	4.1			
				9 クラスや学校のために係や当番、清掃などの仕事をがんばったり、誰かの役に立つ行動をしようとしたことができたか。	89.9 5	
8 教師自身が危機意識を持ち、登下校に関する安全指導を行ったり、安全点検では、危険箇所の早期発見に努めましたか。	4.9	13 柏の葉小中学校は、保護者・地域の力を借り、安全で安心な学校づくりに努めていると思いますか。	4.7	10 登下校では交通ルールを守ったり、安全に気を付けて学校生活をすごしたりして、ケガや事故がないようにすることができましたか。	96.3 5.4	
				11 自分には良いところがあると思いますか。	83.1 4.8	
		14 放課後、習い事やクラブ、塾などに通っていますか。	[91%]	【数値算出方法】 「とてもそう思う」6点、「そう思う」5点、「どちらかと言えばそう思う」4点、「どちらかと言えばそう思わない」3点、「そう思わない」2点、「まったくそう思わない」1点として、6点満点で、回答データをもとに数値を出した。児童については4段階で「とてもそう思う」4点、「そう思う」3点、「そう思わない」2点、「まったくそう思わない」1点として回答データをもとに数値を出し、6点満点に換算して比較しやすいようにしている。(回答データについては別資料参照)		
		15 その他、学校に対して、様々な観点からお気づきのこと、前向きなご提案をお願いいたします。				
自分から同僚に声をかけコミュニケーションをとることができましたか。	5.1	学校関係者評価				
10 「朝・道・帰」を適切に行って、学年や校内で情報共有ができましたか。	5	【アンケート結果から】 ○いずれも4以上の好意的評価を得ている。(特に行事に関してその意義を大事にしているのが分かる) ○「わかりやすい授業の展開」について、教職員がさらによりよい授業をめざしている。→ 下記(2)に関連 ○「あいさつ」については児童の意識と保護者の認識が大きく異なる。ただ、「自分は頑張っている」と思う児童が多いことから、引き続き気持ちの良い挨拶を進んでできるよう指導していく。(まわりの大人の率先垂範) ○HPやメールでの連絡について高評価を得ている。→来年度は市教委の支援を得て、さらに企業のサービスを導入することを検討している。 ○長期休業中の学習について、児童の意見と保護者の要望に乖離が見られる。→ 下記(3)と関連 【今年度の課題と来年度の展望】 (1)児童数(家庭数)の多さ。様々な児童がいる。(健康や家庭的なことなど様々な配慮が必要)、多様な価値観の存在 →公教育として児童の安全第一に、なるべく多くの人が納得して前向きに取り組めるような判断をしながら学校運営をしていく。 (2)教職員不足… 複数名の未配置。 → 「チーム学校」:助け合い、各教師の力量・学校力のアップ (教職員研修) (色々な職種の職員がいる。勤務時間や仕事内容が違う。担任は教員免許保持者のみ。→ 保護者へ周知を) (3)コミュニティスクール「地域とともに教育を創造する学校」(ともに育てる:共育) チーム:教職員、保護者、地域、設置者、医療関係者、外部組織 (授業への参画:ミシンなどの実習支援、 → 子供の様子を見る利点も) 学校の管理外、時間外… 保護者や地域の力を				
11 本校の職員に対しては話しやすく、相談しやすいと感じますか。	5.2					
12 本校の管理職に対しては話しやすく、相談しやすいと感じますか。	5.1					
13 「不祥事は絶対に起こさない」という教育公務員としての自覚を持って通っていますか。	5.7					
14 より良い学校(職場環境)につながりそうなアイデアや前向きな意見をお聞かせください。						